

平成23年度
事業報告書
(概要版)

(自) 平成23年4月 1日

(至) 平成24年3月31日

社会福祉法人 佐賀市社会福祉協議会

目 次

平成23年度事業概要	1
I. 法人運営部門	2
1 役員会開催状況	
2 評議員会開催状況	
3 監査状況	
4 苦情の受付及び解決状況	
II. 地域福祉活動推進部門	2
1 民生委員・児童委員活動支援事業	
2 地域福祉活動計画策定事業	
3 ボランティアセンター事業	
4 小地域ネットワーク活動	
5 福祉教育・啓発活動	
6 地域子育て支援センター事業	
7 各種福祉団体支援事業	
8 共同募金配分金事業	
III. 福祉サービス利用支援部門	11
1 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）	
2 生活福祉資金貸付事業	
3 福祉資金（小口）貸付事業	
4 住民の福祉活動の推進・支援	
5 祭壇貸付事業（特別会計）	
6 福祉サービス第三者評価事業（特別会計）	
7 総合相談事業	
8 健康・生きがい促進運営事業	
9 三瀬地域巡回バス運営事業	
10 放課後児童クラブ事業	
11 老人福祉センター等運営事業	
12 佐賀市立母子生活支援施設「高木園」運営事業	
13 松梅児童館運営事業	
14 佐賀市産業振興会館管理事業	
15 佐賀市東与賀保健福祉センター管理事業	
16 佐賀市久保田総合センター管理事業	
IV. 在宅福祉サービス部門	14
1 寝具洗濯乾燥消毒サービス事業	
2 居宅介護支援事業	
3 訪問介護事業	
4 通所介護事業	
5 富士地区コミュニティバス実験運行（富士地区高齢者憩いの家事業）	
6 佐賀市生活サポート事業	
7 身体障がい者居宅介護支援事業	
8 外出支援事業	
V. その他の事業	15
1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力	
2 日本赤十字社事業の推進	

平成23年度事業概要

平成23年度の佐賀市社会福祉協議会の事業は、3月11日に起こった東日本大震災に対する義援金の受付並びに被災地の社会福祉協議会・災害ボランティアセンターに対する生活福祉資金受付・ボランティアコーディネーター職員の人的支援から始まりました。(九州管内の社協は主に福島県内の社協への支援)

このような状況の中、佐賀市においても地域住民の相互支援、人的ネットワークの重要性が再認識され、平成22年度末に策定された「第2期佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の基本理念である「みんなが参加、みんなが福祉、みんなの安心、笑顔が輝く佐賀のまち」を達成するために、佐賀市をはじめ校区社会福祉協議会、民生委員児童委員、自治会協議会、ボランティア、地域の各種団体や福祉団体などとの連携を密にし、

- ① 人的ネットワークづくり
- ② 健康で安心して暮らせるまちづくり
- ③ 充実した福祉サービスの仕組みづくり

の基本目標達成のために、事業計画に沿って市内全域に渡り地域の特性を生かした多くの事業に取り組むことができました。

- ※ 各項目の金額は事業支出額を表しています。
- ※ 共同募金の配分金充当事業については【共募配分】、歳末たすけあい配分金充当事業については【歳末配分】と表記しています。
- ※ 委託・補助事業を除く事業経費は、主に社協会費、寄付金等が使われています。

I. 法人運営部門

1 役員会開催状況

理事会 第1回：平成23年5月27日 第2回：平成23年7月1日
第3回：平成23年12月26日 第4回：平成24年2月22日
第5回：平成24年3月26日

2 評議員会開催状況

評議員会 第1回：平成23年5月27日 第2回：平成23年6月21日
第3回：平成23年7月1日 第4回：平成23年12月26日
第5回：平成24年2月22日 第6回：平成24年3月26日

3 監査状況

監査 平成23年5月12日・13日・18日

4 苦情の受付及び解決状況

苦情解決システム管理要綱に基づき、利用者等からの苦情について適切な解決を図った。

(対応件数6件)

II. 地域福祉活動推進部門

1 民生委員・児童委員活動支援事業 (486,500円)

住民の立場に立って相談に応じるとともに援助を行い、広く住民の福祉にかかわり地域福祉活動の推進を行っている市内の民生委員児童委員の活動支援・協力を行った。

(1) 佐賀市民生委員児童委員連絡協議会会長会

市行政部局とともに主要関連事項の説明、又は意見交換を行うため同会長会へ毎月出席した。

(2) 地区民生委員児童委員協議会

所管事項についての伝達・依頼とともに業務遂行上必要な意見交換を行うため、市行政部局とともに市内26地区の同協議会へ毎月出席した。

2 地域福祉活動計画策定事業 (43,780円)

「佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の第二期計画策定後1年が経過したことに伴い、佐賀市及び地域住民・福祉団体・ボランティア団体・学識経験者等からなる委員会に計画の進捗状況の報告を行った。

3 ボランティアセンター事業 (4,269,577円)

ボランティア活動の基盤強化を重点に、ボランティア（個人・グループ）の育成援助並びに地域のニーズ把握に努めるとともに、情報の提供及び各種講座・行事等を開催し、市民のボランティア意識高揚と、ボランティア活動への参加を促した。

(1) 活動基盤整備事業 (261,154円)

- ① ボランティアコーディネーター機能の強化
- ② ボランティアセンター運営委員会の開催
- ③ ボランティア室の貸出

(2) 啓発推進事業 (一円)

- ① ボランティア情報の提供

(3) 養成研修事業 (1,003,918円)

- ① 「2011さが塾」
 - 公開講座・・・ご近所の底力～福祉力を高めるために～
 - 校区社協役員研修会・・・「本音で語ろう地域福祉の進め方」
 - コーディネーター研修会
 - 情報交換会
 - 記録冊子の作成
- ② ボランティアのつどい
- ③ 小学生福祉体験学習事業

市内の小学生を対象に、福祉体験・ボランティア体験を通して、「思いやりの心・ボランティアの心」を育み、心の糧を養うために行った。

④ 子育て支援ボランティア養成講座

地域で子育て支援活動に意欲をお持ちの方に対し、必要な知識や技術等を提供し、ボランティアとしての人材育成を行い、地域で子どもを育てる環境づくりの輪を広げた。

⑤ 巨石パークふれあい登山～ボランティア初級講座～【共募配分】 大和

ボランティアグループ“巨石パーク山桜の会”のガイドによる巨石パーク登山を、参加者同士のふれあいのもと開催した。

⑥ 技能ボランティア養成講座

- 絵手紙ボランティア養成講座 三瀬 東与賀 久保田
- 折り紙ボランティア養成講座 東与賀 久保田
- レクリエーション指導者養成講座 久保田

⑦ 被介護者体験研修 川副

住み慣れた場所で安心して生活できる協力体制を作るため、参加者に「無言の不安」や「微笑みの安心感」を体感させ、言葉かけの重要性を再認識できる研修会を開催した。

⑧ 見守り活動研修

地域において誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりを目指し地域住民の参加を得ながら見守り活動を推進していくためのネットワークを学ぶ研修会を開催した。

(4) 災害時のボランティアへの取り組み (187,535円)

災害発生時には速やかに災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災者支援・ボランティア支援を行えるような体制づくりを図った。

- ① 東日本大震災被災地へボランティアコーディネーター派遣
- ② 災害(時要援護者)支援ボランティアリーダー養成講座へ参加
- ③ 佐賀市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル作成会議の開催
- ④ 東日本大震災支援事業【歳末配分】

ア. いやし!たのし!さがし! ～避難者交流イベント～

東日本大震災により被災し、被災地から佐賀市内へ避難されている方を対象に、避難者同士および地域住民との交流を目的に開催した。

イ. “クリスマス、綿毛プロジェクト”への協力

「i-くさのねプロジェクト」と協力し、12月17日に行われた宮城県仙台市高砂地区社協主催のクリスマスイベントで、被災者の方へ届けるクリスマスプレゼントを佐賀市民の方々へ呼びかけ、思いがこもった贈り物を現地へ送った。

ウ. 「ほっとカフェ!!」の開設

震災で避難して来られた方々からの要望を受け、佐賀市福祉ボランティア協会と共同で避難者が集える場を、ほほえみ館2階に毎週水曜日開設した。(継続中)

(5) 団体活動の支援 (2,510,200円)

- ① ボランティア活動保険の受付
- ② ボランティア活動への助成
福祉活動の振興を図るため、社会福祉事業を目的とするボランティア団体等の運営に要する経費に対して助成を行った。ボランティア団体(62団体)連絡協議会(9団体)
- ③ 学校ボランティア育成事業
社会福祉への理解と関心を深め、ボランティア精神(公共に奉仕する心情、相互扶助の精神)を育むことを目的とした学校事業に対して助成を行った。
小学校25校、中学校7校、高校1校
- ④ 子育てボランティア支援事業【歳末配分】
佐賀市内で活躍されている子育てサロン・サークルの代表者の方々を対象に、心を育てる「読み聞かせ講習会」を実施した。

(6) その他の支援・協働事業 (306,770円)

- ① 干潟(シチメンソウヤード)清掃活動「年1回」 東与賀

自然保護・環境保護の視点から、稀少植物シチメンソウヤードの清掃活動をボランティア推進協議会、佐賀南ロータリークラブと協働して、ボランティアの充実を図る為に住民参加のもと実施した。

- ② 24時間テレビチャリティー募金活動への協力
市内の福祉施設や団体、NPO法人等が行うチャリティー募金活動及び福祉車両等の寄贈申し込みの取りまとめを行った。
- ③ 各ボランティア団体等との連携、協働
佐賀市福祉ボランティア協会が開催する代表者会議や各ボランティア団体等が開催する定例会に出席し、連絡・調整、情報等の共有を図った。
- ④ 佐賀市おもちゃ図書館「むつごろう文庫」の運営
布絵本や布遊具の制作、貸し出しを行っているボランティアグループ「むつごろう文庫の会」の協力を得て、おもちゃの貸し出し、遊び場を提供した。
- ⑤ ごみカレンダー点字版の配布
パソコン点訳ボランティア「麦の会」の協力により、ごみカレンダーの点訳版を作成し、市内の視覚障がい者で希望する方（27名）に配布した。

4 小地域ネットワーク活動 (36,643,619円)

- (1) 校区社会福祉協議会活動の推進・支援 (9,490,635円)
「自分たちの地域の福祉課題は、まず自分たち自身で取り組もう。」という住民意識のもと、小地域福祉活動を担う基礎組織として設置されている市内19校区の校区社会福祉協議会に対し支援と協力を行い、併せて支所における地区社会福祉協議会の設立に向けて、働きかけを行った。
 - ① 校区社会福祉協議会運営費助成【共募配分（一部）】
各校区社会福祉協議会の運営・活動を支援するために、佐賀市と協調して助成を行った。
 - ② 校区社会福祉協議会会長会及び幹事会の開催
各校区社会福祉協議会間の連絡調整のため、会長会を5回、幹事会を7回開催し、情報交換を図った。
 - ③ 校区社会福祉協議会役員研修
校区社会福祉協議会活動の充実と活性化を図るため、県内外の先進地の地区社会福祉協議会役員との交流研修等を実施し、事業の強化・促進に役立てた。
 - ④ 支所における地区社会福祉協議会設立推進
支所における地区社会福祉協議会の設立に向けて関係団体に協力を呼びかけ、設立を推進した。
 - ⑤ 年末・年始地域福祉交流事業【歳末配分】
各校区社会福祉協議会が自らの福祉課題に応じて行う年末・年始の事業に対し、助成を行うことで、地域での特性を活かした住民同士の交流を深めることができた。
- (2) 年末・年始地域福祉交流事業 (397,244円)【歳末配分】 大和
 - ① 年末地域ふれあいまつり事業助成
校区単位の実行委員会が実施する「ふれあいまつり（小学生、PTA、学校関係者、福祉ボランティア等の発表・交流事業）」に対し助成を行った。
 - ② 高齢者ふれあい会食会（対象者：70歳以上の一人暮らし高齢者）
大和地区民生委員児童委員協議会主催で、食生活改善推進協議会の協力による会食や地元ボランティアグループによる出し物を楽しんでもらった。
- (3) 高齢者サロン事業 (16,689,173円)
地域住民の自主的な参加と協力のもと、家に閉じこもりがちな高齢者やひとり暮らしの高齢者等に、地域の施設（地区公民館、集会所等）を活用し、社会的孤立感の解消及び自立生活の向上を目的に実施されるサロンに対し運営費の助成を行い、併せてサロン設立や運営の指導等を行った。

サロン数	開催数(回)	参加者数(人)	助成額(円)
200	3,917	64,605	14,843,522

- (4) 高齢者サロンリーダー研修会
地域で活動するサロンの協力者を対象に、今後の運営に役立つメニューづくりの研修会を行った。

(5) 在宅高齢者会食会助成事業 (1,736,700 円) 【共募配分】 【歳末配分】

地域ボランティアや校区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会が、高齢者の生きがいと健康づくり活動の推進及び孤立化防止を図ることを目的に実施する会食会に対して助成金を交付した。

地区数	実施団体数	開催数(回)	参加者数(人)	助成額(円)
16	20	66	6,038	1,736,700

(6) 愛の一声運動推進事業 (4,572,935 円)

ひとり暮らし高齢者の安否確認と生活状況の常時把握、孤独感を慰め日常生活の安全を確保することを目的に、佐賀市民生委員児童委員協議会に委託して実施した。

登録者数 前期782人 後期723人

(7) 災害時要援護者避難支援対策事業 (88,940 円)

佐賀市と協働し災害時に避難支援を要する高齢者等(災害時要援護者)に対し、迅速な安否確認、避難支援行動に取り組めるよう、地域支援団体(自治会、民生委員児童委員、校区社協など)の協力を得て、災害時要援護者の登録推進や訓練等を行った。

要援護者登録数2,313人(平成24年3月末現在)

(8) 見守りネットワーク事業 (141,007 円)

①緊急連絡カードの整備 富士 三瀬

民生児童委員の協力を得て、緊急時に備え、ひとり暮らしや高齢者のみ世帯の実態を把握するとともに、対象者に緊急連絡カード等の配布を行った。

②生活困難者支援事業【歳末配分】

佐賀市で路上生活を強いられている方や日々の生活が困窮している方々へ、年末年始を無事に乗り切っていただくための支援活動として、缶詰やカップ麺などの食糧、また寒さを凌ぐ防寒グッズ等の詰め合わせセットを緊急的手段として配布した。

(9) 健康づくり促進事業 (196,748 円)

①地域高齢者生活支援事業 諸富

高齢者の介護予防、健康に対する意識の向上を目的として、血圧測定や健康チェック、保健師による講話、軽運動等を実施した。

②高齢者ふれあいサロン事業 久保田

家に閉じこもりがちな高齢者に、気軽に利用できる家庭的な雰囲気の中でサロンを実施した。

③高齢者支援講習会 東与賀

高齢者が、習得した知識や技術を地域でのサロン事業や会合時に活用していただくことを目的に講習会を実施し各サロンで活用された。

④健康体操教室 東与賀

高齢者を対象に「NPO法人ふれあい館」と協働し、自らの体力に合った運動の紹介、体操、健康指導、栄養指導、健康管理等を行った。

(10) 高齢者相互交流事業 (746,887 円)

①よかところ発見の旅 諸富

②ふるさと発見 三瀬

③さがし探訪会【共募配分(一部)】 東与賀

④地域探訪会【共募配分(一部)】 久保田

⑤楽しい生け花教室 三瀬

⑥スイム健康教室 三瀬

(11) 高齢者食育推進事業 (193,360 円) 三瀬

①ふれあい食事教室

②男の料理教室

(12) ふれあいサークル事業 (一円) 三瀬

住民の生きがいと健康づくりや閉じこもり防止を目的に実施した。

(1 3) ふれあいチャレンジ塾 (410,952 円)

① ふれあいチャレンジ塾【共募配分(一部)】**富士**

「ものを作る喜び」「人とふれあう喜び」「地域を知る喜び」「季節を体感する喜び」を子どもと地域の大人(ボランティア支援者)が工夫や挑戦をともに楽しみながら、世代間の交流を深めることを目的に実施した。

② 三瀬ふれあいチャレンジ塾【共募配分(一部)】**三瀬**

高齢者や他の地域の子も達との交流や遊びを通して、他人を思いやる心や共感することのできる心を育み、子ども達の健やかな心身の成長を支えた。

(1 4) 一輪車育成 (99,000 円) **富士**

一輪車演技を通じて児童の健全育成及びチームプレーによる連帯感や社会性を養い、また、「ふれあい祭り」への出演や施設訪問により「思いやりの心」を育て、児童のみならず、保護者に福祉施設の特性を知ってもらうために支援を行った。

(1 5) 世代間交流事業 (807,285 円)

① ふれあい会食会【共募配分(一部)】**川副** **東与賀** **久保田**

川副地区(ひとり暮らし高齢者と園児のふれあい会食会)では、年長者への敬意や、幼児を慈しむ心を感じられるように、同じ時間を共有する機会を設け、高齢者の孤独感解消や閉じこもりの予防、園児の健やかな育成を図った。

久保田地区(ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯のふれあい会食会)では、外出の機会が少ない高齢者と園児、児童や育児サークル等との世代間の交流により、在宅高齢者の孤独感の解消、閉じこもり予防や地域コミュニティの向上を図った。

一方、東与賀地区(ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯の会食交流会)では、世代間の交流と併せて、市保健師・栄養士による健康相談や栄養指導等を実施することで、健康で自立した生活の継続が図れるよう支援した。

② 地域ふれあい交流事業【共募配分】**富士** **川副** **久保田**

富士地区では、子ども、親、高齢者、障がい者など、地域の中には様々な人が住んでいるということを知る機会として、一輪車や銭太鼓の発表の場、特技を持つ人の作品出展、クラフトを通じた交流の場を通じて、世代間のつながりの大切さを理解することを目的に実施した。

川副地区では、グラウンドゴルフや稲刈り体験をとおして、高齢者と児童が同じ目的・目標に向けてお互いに協力する場を提供し、世代を越えた交流を図った。

久保田地区(世代間交流事業)では、高齢者と子どもが一緒に楽しめる身近なスポーツを通してふれあい、児童の健全育成と高齢者の健康な心身の養成を図ることで、明るい地域社会づくりを目指し実施した。

(1 6) 施設・地域交流事業 (257,303 円)

① ふれあい夏祭り支援 **富士** **東与賀**

高齢者や障がい者の施設の利用者と地域住民との交流を深めることを目的に、ボランティアや地域住民の協力のもと夏祭りを実施した。

② 障がい児クリスマス交流会【歳末配分】**諸富** **東与賀**

障がい児及び保護者の自立と社会参加の促進を図ることを目的に、障がい児をもつ親の会と一体となってイベントを開催することで障がい児と地域住民との交流を深めた。

③ 障がい者施設交流事業【歳末配分】**久保田**

小規模作業所利用者及び家族と民生児童委員や地域住民との親睦と融和を図り、施設と一体となってクリスマス交流会を開催することにより、障がい者への理解を深めるとともに、地域との連携を深めた。

(1 7) 歳末地域交流事業 (815,450 円)

① 世代間交流しめ縄づくり【歳末配分】**三瀬** **川副** **久保田**

地域の高齢者と児童が、しめ縄づくりをとおして交流を深めるとともに、日本の慣習や風習に込められた想い・願いを伝え残すことにより、薄れゆく地域コミュニティ(地域力)の向上を図った。併せて、出来上がった「しめ縄」をひとり暮らし高齢者に届けることで、高齢者との心の交流を育んだ。

② 世代間交流餅つき会【歳末配分】**諸富** **富士** **三瀬** **川副**

餅つきをとおして、高齢者や児童、地域住民が慣習や風習に込められた先人の思いを共有し、世代を越えた交流を深めるとともに、障がいをもつ方々と地域住民の交流を図り、地域コミュニティの向上を図った。

③ 高齢者世帯会食交流会【歳末配分】 **東与賀**

外出の機会が少ない高齢者が一同に会し、ゲームや余興等の交流を図りながら、健康相談・栄養指導を実施することにより、高齢者の孤独感解消や自立生活の一助とすることを目的に実施した。

④ 男の工芸教室 **久保田**

男性の集いの場を提供し、知り得た技術や情報を基に、地域での各種のボランティア活動への積極的な参加を促進していくために開催した。

5 福祉教育・啓発活動 (5,838,730 円)

(1) 福祉体験学習指導者派遣事業 (712,368 円)

地域・学校等で開催される福祉総合学習（車椅子介助・アイマスク体験・高齢者疑似体験等）が適切な指導により実施されるよう、経験・指導力を備えた指導者（クローバーの会）を派遣した。

種 別	延講座数 (回)	派遣校数 (校)	派遣校数
アイマスク指導	108	16	18校
疑似体験指導	132	18	
車椅子指導	88	17	
事前協議	36	18	
合 計	364		

(2) 実習生の受け入れ (－円)

これからの社会福祉を担う学生に社会福祉専門職に求められる姿勢、態度、援助技術を身につける実地教育の場を提供し、社会福祉の増進に繋がるよう指導・育成を行った。

(3) 社協だより“愛・あい”の発行、ホームページの更新 (4,588,741 円)

社会福祉協議会の事業を広く市民に知らせ、また理解と協力を求めるため、年4回（春・夏・秋・新春号）市内全世帯及び事業所に配布した。

また、パソコン点訳ボランティア「麦の会」の協力により、点訳版を作成し市内の視覚障がい者で希望する方に配布した。

さらに新しい情報を提供するため、定期的にホームページを更新した。

① 社協だより“愛・あい”の発行【共募配分（一部）】

1回の発行部数 100,700部（宅配） 点字版 22部（郵送）

② 佐賀市社協ウェブページ（ホームページ）の運営

(4) 諸富支所だよりの発行 (－円) **諸富**

諸富支所が行う事業並びに地域活動を紹介し、地域との一体化を図りつつ、社会福祉協議会活動の理解や地域活動の活性化を図るため諸富地区全世帯に回覧した。

(5) 第7回佐賀市社会福祉大会の開催 (496,621 円)

市内の福祉関係者が一堂に会し、今後の福祉活動推進の意識を高めるとともに、永年社会福祉に功労のあった者を表彰し、その功績を讃え社会福祉事業の振興発展を目的に開催した。

(6) あいさつ運動 (－円) **東与賀**

児童生徒の健全育成のため、全ての大人が子どもの育成に関心を持ち、かつ主体的に係わる「子どもへのまなざし“100%”のまち」の実現を目指し、各学期始め（年3回）に民生児童委員（地区民協 正・副会長）の協力を得て、学校関係者とともに実施した。

(7) はがき訪問事業 (19,000 円) **東与賀**

小学生児童が、ひとり暮らし高齢者に対し、暑中見舞や年賀はがきを送ることにより、高齢者へのいたわりの気持ちを伝えるとともに孤独感の解消を図った。

(8) ふれあい年賀状事業 (22,000 円)【歳末配分】 **大和**

大和町内に在住の70歳以上の単身高齢者に対し、小学生が作成したふれあい年賀状を安否確

認も兼ねて、民生委員児童委員の訪問または、郵送により届けた。

6 地域子育て支援センター事業 (6,409,077円)【共募配分(一部)】

同年代の子どもを持つ親が親子でふれあうことのできる「ひろば型」の子育て支援センターを設置し、あわせて広場を支える地域住民の助けあい・支えあい活動の充実を図ることで、地域で子どもが健やかに育つよう支援した。

諸富支所を基幹とし、佐賀市全域に出張ひろばを配置し事業推進を図った。

(1) 子育て親子への交流の場の提供と交流の促進

① つどいの場の提供

親子が気軽に自由に利用できる場として「つどいの広場」を開設した。(単位:人)

	開館日数	乳幼児数(延数)	保護者数(延数)	ボランティア数(延数)
諸富ふれあい広場	237	3,855	2,902	224
ふれあいる一む	245	355	421	126
大和まほろば広場	50	118	75	46
みつせスマイルキッズ広場	13	57	71	6
むつごろう文庫	33	318	293	52
よかつこ広場	20	96	76	20

② 子育てサロンの開催

子育てサークルによる「子育てサロン」を行うことにより、子育て親子の交流を図った

サロン名	実施回数	実施内容
赤ちゃん広場	12回	乳児対象の発育相談とわらべ唄
かすたねっとサロン	12回	作物の育成・収穫、季節行事を取り入れたおもちゃ作りや遊び
にこにこ広場	11回	アンパンマン体操、ふれあい遊び
絵本の広場	12回	絵本の読み聞かせ
手作り布おもちゃで遊ぼう	12回	布遊具を使ったふれあい遊び
あつまろっと広場	3回	スタッフによるふれあい交流
まほろばサロン	4回	エプロンシアター、大型紙芝居、人形劇、レクリエーション等
ふじっこサークル	11回	七夕会、温泉遊び、パソコン教室、ハロウィンづくり、クリスマス会、キャンドルづくり、おはなし会 アロマ、運動でリフレッシュ等
ぐんぐん金曜日	37回	
わらべうたサロン	12回	
のびのびタイム	12回	
よかつこ広場	12回	ベビーマッサージ、よかよか運動会、乳幼児安全法講習会、クリスマスコンサート、育児相談
なかよし広場	11回	料理教室、おはなし会、親子遊び、お菓子づくり、クリスマス会、布おもちゃ遊び
みつせスマイルキッズ	10回	バスハイク、布おもちゃづくり、ミニ運動会、リンゴ狩り、七夕会、クリスマス会、絵本や大型紙芝居、折り紙教室
むつごろう文庫	11回	布おもちゃで遊ぼう
	12回	童話の読み聞かせ

(2) 子育て等に関する相談、援助の実施(各つどいの場で実施)

子育てについて不安を抱えている親の相談に応じるとともに、定期的に専門家による「乳幼児育児・発育相談」や子育てに役立つ講座を実施することにより、子育て不安の解消を図った。

① 子育てに関する相談

(単位:件)

	相談内容別					形態別			合計
	育児	就園	親の問題	家族関係	地域関係	来所相談	電話相談	その他	
諸富	241	36	16	31	18	276	2	64	342
富士	14					14			14
東与賀	25	1	10	5		41			41

② 専門家による子育て相談(年6回)相談件数 64件

- ③ 子育て講座の開催（4回連続講座を2か所〔諸富支所・東与賀支所〕で実施）
- (3) 子育てサポーターや子育てサークル等の育成・支援
- ① 子育てサポーターの育成
子育てのための知識や技能を学ぶ「子育て講座や研修」の実施により、子育てサポーターの育成を図るとともに、更なるサポーターの質の向上を図った。
- ② 子育てサークル等の育成・支援
「ひろば」に関わるサークル同士の交流会等の開催や活動の場を提供することにより、子育てサークルの育成・支援を行った。
- (4) 乳幼児一時預かり事業
子育て中の親が少しでもゆったりと豊かな気持ちで過ごすことができるよう、また急用時をサポートするため広場の開所時間内で乳幼児の一時預かりを行った。
- (5) イベント託児の実施（基幹）
子育て中の親が子育て講習等や各種イベントに安心して参加できるよう、開催場所に出向いて託児を行った。
- (6) 子育て支援に関する情報の提供
子育て情報紙を随時発行し、行事の案内・報告を行うとともに社協だより“愛・あい”やホームページ及び市報さがでも子育て支援に関する情報提供を行った。また、子育てサークルによる子育て情報紙「ハッピーママ」と「ふれあい広場だより」を月1回発行した。
- ① 子育て情報紙「子育てひろば」の発行（年4回）
- ② ホームページによる情報提供
- ③ 子育て情報紙「ハッピーママ&ふれあい広場だより」の発行（月1回）
- (7) 地域の子育て力を高める取組みの実施
地域の実情に応じ、地域の子育て力を高めることを目的とした取組みについて、積極的に実施するよう努めた。
- ① 「出前交流広場」の開催
地域のボランティアとともに地区公民館等で「交流サロン」等を開催し、地域交流の場の支援を行った。
- ② 地域「世代間交流事業」への参画
地域世代間交流事業（こどもフェスタ等）への参画を通して、親子と地域のつながりを深め、世代間交流の中で地域ぐるみの子育て支援を推進した。
- 出会いの広場・・・平成23年4月26日 参加者：204人
 - こどもフェスタ・・・平成23年6月5日 参加者：584人
- ③ 父親サークルの設置推進
父親同士のつながりを促進するため、父親参加型のサロンを開催した。
- 7 各種福祉団体支援事業（4,774,780円）
- (1) 福祉団体等及び社会福祉事業施設助成事業（2,365,075円）【共募配分（一部）】
佐賀市における福祉活動の振興を図るため、社会福祉事業を目的とする福祉団体等の事業及び運営に要する経費に対して助成金を交付した。 運営費助成（11団体） 事業助成（6事業）
- (2) 歳末育児支援事業（473,634円）【歳末配分】
市内の子育てサロンに「クリスマスプレゼント」として、拡大絵本・エプロンシアターの贈呈を行い、子育て支援の推進を図った。
- (3) 福祉バスの利用（1,936,071円）
特別団体会員として登録している市内の各種福祉関係団体等が、研修・ボランティア活動等を行う際、円滑な活動ができるよう、マイクロバスによる送迎を行った。
- 8 共同募金配分金事業（19,026,780円）
- (1) 共同募金配分金事業（11,990,000円）
佐賀県共同募金会の配分委員会の議決に基づく佐賀市社会福祉協議会への配分金を基に、法人運営費の繰入金とともに共同募金配分事業として事業を行った。

	事業名	事業額(円)	配分金充当額(円)
全市	社協だより“愛・あい”の発行	4,527,461	1,588,000
	母子結婚相談事業(母子連)への助成	27,000	27,000
	一日ファミリー事業(母子連)への助成	45,000	45,000
	児童遊園地整備助成金	696,200	696,200
	防犯灯の設置助成	2,367,605	1,920,112
	佐賀市移送サービス事業	813,576	809,286
本所	校区社会福祉協議会運営費助成	4,750,000	2,850,000
	在宅高齢者会食会助成事業	1,737,750	710,522
諸富	地域子育て支援センター事業	5,801,000	1,429,536
大和	まほろばひろば	90,355	82,515
	まほろばサロン	93,788	93,788
	巨石パークふれあい登山～ボランティア初級講座～	3,457	3,457
富士	ふれあいチャレンジ塾	306,936	290,136
	地域ふれあい交流会	83,697	83,697
	子育て支援事業(ふれあいるーむ)	107,742	107,742
三瀬	三瀬ふれあいチャレンジ塾	104,016	86,706
	みつせスマイルキッズ	93,344	89,294
川副	ひとり暮らし高齢者と園児のふれあい会食会	262,424	246,824
	地域ふれあい交流事業	167,176	167,176
東与賀	ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯と児童の会食交流会	128,358	122,308
	さがし探訪会	126,078	95,078
	子育て支援事業	175,414	142,614
久保田	ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯のふれあい会食会	102,144	90,144
	世代間交流事業(ゲートボール・グランドゴルフ)	63,486	63,486
	子育て支援事業	47,434	44,434
	地域探訪会	148,945	104,945
合 計			11,990,000

(2) 歳末たすけあい配分金事業(7,036,780円)

前年度、運動期間中(12月1日から1ヶ月間)に集まった募金を共同募金会佐賀市支会に設置した配分委員会に諮り、住民ニーズに応じた事業を展開した。

	事業名	事業額(円)	配分金充当額(円)
全市	生活困難者支援事業(年末福袋配布)	141,007	141,007
	歳末育児支援事業 (大型絵本贈呈、読み聞かせ講習会)	500,809	500,809
	東日本大震災支援事業 (避難者の居場所づくり)など	95,455	95,455
	(歳末たすけあい配分金事業事務費)	78,034	78,034
本所	在宅高齢者会食会助成事業	1,026,178	1,026,178
	年末・年始地域福祉交流事業(校区社協)	3,824,000	3,824,000
諸富	ふれあい交流会(餅つき及び会食)	87,641	87,641
	障がい児サロン事業	36,921	36,921
大和	地域ふれあいまつり	40,000	40,000
	高齢者ふれあい会食会	357,244	357,244
	ふれあい年賀状	22,000	22,000
富士	餅つき交流訪問事業	127,770	127,770
三瀬	世代間交流餅つき会	32,226	32,226
	世代間交流しめ縄作り	8,800	8,800
川副	世代間交流餅つき会	232,213	232,213
	世代間交流しめ縄作り	100,500	100,500

東与賀	高齢者世帯会食交流会	111,383	103,383
	障がい児クリスマス会	70,277	70,277
久保田	男の工芸教室	76,779	69,779
	世代間交流事業	38,138	32,438
	障がい者施設交流事業	50,105	50,105
合 計			7,036,780

Ⅲ. 福祉サービス利用支援部門

1 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）（5,523,401円）

「福祉サービス利用者の利益の保護」を図ることを目的に、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な人達が安心して自立した地域生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助等を行い支援した。

- ① 福祉サービスの利用援助サービス
- ② 日常的な金銭管理サービス
- ③ 書類等の預かりサービス

(1) 基幹的社協の受託

生活支援専門員の配置

基幹的社協として生活支援専門員を配置し、佐賀市・多久市・小城市・神崎市及び吉野ヶ里町における相談や契約の手続き等を、各市町社協と連携し行った。

(2) 福祉サービス利用援助事業の実施（佐賀市分）（単位：人）

	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	延支援件数 (件/年)
契約者数	45	22	25	4	96	1,594
H22度末	26	19	19	5	69	—

2 生活福祉資金貸付事業

金融機関や公的貸付制度からの借入れが困難な所得の少ない世帯、障がい者や介護を要する高齢者の居る世帯に対し、必要な資金の貸付けと相談援助を行った。

また、東日本大震災被災地へ生活福祉資金（緊急小口資金）特例貸付の支援のため職員を派遣した。

	生活福祉資金	臨時特例つなぎ資金	合計
相談等件数	429	12	441
貸付件数	3		3

3 福祉資金（小口）貸付

低所得世帯の自立更生のため、他からの資金貸付が困難かつ緊急の場合に3万円を上限として貸し付けを行った。

件数（件）		金額（円）
相談・問い合わせ	518	
貸付	185	4,878,479
償還	277	5,432,403

4 住民の福祉活動の推進・支援（3,183,805円）

(1) 小災害罹災世帯に対する見舞（120,000円）

災害により罹災者が物的・精神的な援護を必要とする場合、自力更生の向上を図るため見舞金を支給した。別途、佐賀県共同募金会、日本赤十字社佐賀県支部の取扱窓口として見舞金等の支給を行った。

	災害件数	罹災世帯数	人数（人）	見舞金（円）
火災	7	7	18	120,000

(参考) 見舞金品支給状況

佐賀県共同募金会	日本赤十字社佐賀県支部				
見舞金	見舞金	毛布	日用品 セット	バスタオル セット	タオル セット
70,000 円	85,000 円	16 枚	6 組	12 組	3 組

(2) 児童遊園地整備助成金 (696,200 円) 【共募配分】

市内地区自治会が児童福祉対策として、児童遊園地の新設、増設及び補修を行った場合、市行政部局とともに助成金を交付した。

校区	設置数(件)	助成額(円)	校区	設置数(件)	助成額(円)
北川副	2	91,900	諸 富	1	44,400
本 庄	3	73,600	東与賀	6	328,400
金 立	1	60,000	久保田	1	91,300
蓮 池	1	6,600	合 計	15	696,200

(3) 防犯灯の設置助成 (2,367,605 円) 【共募配分】

市内地区自治会等が地域住民の安全と犯罪の防止、青少年の非行防止のため、自主的に防犯灯の設置・補修・切り替え及び蛍光管等の取り替え等を行った場合、市行政部局とともに助成金を交付した。

校区	設置数(件)	助成額(円)	校区	設置数(件)	助成額(円)
勸 興	16	26,600	新 栄	16	40,500
循 誘	18	90,050	若 楠	21	93,600
日 新	52	125,700	開 成	20	87,925
赤 松	16	184,600	諸 富	45	100,875
神 野	36	122,925	春 日	27	130,750
西与賀	24	113,700	春日北	8	62,600
嘉 瀬	16	51,650	川 上	16	58,866
巨 勢	21	41,750	松 梅	17	111,700
兵 庫	41	94,400	富 士	11	101,050
高木瀬	41	113,900	三 瀬	10	80,900
北川副	26	52,850	南川副	1	15,000
本 庄	41	118,550	西川副	3	19,000
鍋 島	30	113,500	中川副	1	4,000
金 立	13	31,650	東与賀	34	94,363
久保泉	33	35,050	久保田	26	45,026
蓮 池	6	4,575	合 計	686	2,367,605

(4) 備品の貸し出し (－円)

突発的な需要や各種団体等が研修などを行う際、車椅子・研修機器等の備品を貸し出した。

また、高齢者や障がい者等が在宅生活の継続を支援するため、ベッド、エアマット、電動ベッド、電動四輪車等を貸し出し、住民福祉の向上に努めた。

(5) 高齢者フリー定期券 (昭和自動車シルバーパス) 販売 (受託事業) (－円) 富士 三瀬

社会福祉協議会で販売することにより、住民の利便性を図り、高齢者の外出支援及び社会参加の促進を図った。

5 祭壇貸付事業 (特別会計) 久保田

葬儀の費用負担を軽減するため、自宅等で葬儀を行う場合に指定委託葬祭業者が祭壇の飾りつけ及び撤去を行い、地域住民の福祉の増進を図った。

6 福祉サービス第三者評価事業 (特別会計) (－円)

個々の事業者 (福祉施設) が、事業運営における具体的な問題点や課題などを把握し、サービスの「質」の向上に結びつけるとともに評価結果などが利用者にとって適切なサービス選択に役立つ情報源となるように事業所登録を行っている。

7 総合相談事業（－円） 富士

(1) 暮らしのトラブル無料法律相談（－円）

多重債務や自己破産等生活上に発生する様々な悩みやトラブルで困窮している者に対し、問題解決を図るため、司法書士の資格を持つボランティアの協力により、市民からの相談に無料で応じた。

8 健康・生きがい促進運営事業（1,737,000円） 三瀬

(1) 流水浴機器等管理運営事業（1,737,000円）

市民の健康増進と、生涯を健康で過ごせる体づくりや生活習慣病の予防を目的に、温泉水を利用した三種類（スイムライフ、アクアビューティー、アクアファイブ）の流水浴機器を利用し実施した。

9 三瀬地域巡回バス運営事業（3,120,000円） 三瀬

住民の交通手段としての送迎と児童の下校時の送りのため、マイクロバスを一日5便運行し、住民福祉サービスの利用促進を図るとともに、児童の安全確保に寄与した。

佐賀市三瀬支所庁舎を基点に東部地区内を運行

10 放課後児童クラブ事業（9,265,000円） 大和 川副

地区内の小学校に通学し、保護者が労働等で昼間家庭にいない児童に対し、授業終了後及び長期休暇期間中に遊びと生活の場を提供し、児童を犯罪から守るとともに健全育成を図った。

① 松梅児童クラブ

② 南川副児童、西川副児童、中川副児童及び大詫間児童クラブ

11 老人福祉センター等運営事業（74,079,594円）

高齢者が地域で安心して、心豊かに楽しく過ごせる場所を提供するため、市内5箇所（平松、巨勢、金立、開成、大和）の老人福祉センター等を運営した。各センターでは高齢者大学、クラブ活動や季節の行事などを行い、生きがいの充足、積極的な「仲間づくり」を進めている、また健康相談を実施し、健康で明るい生活を営んでもらうための事業の推進に努めた。

(1) 佐賀市平松老人福祉センター（17,950,544円）

(2) 佐賀市巨勢老人福祉センター（15,469,097円）

(3) 佐賀市金立いこいの家（11,977,643円）

(4) 佐賀市開成老人福祉センター（13,570,377円）

(5) 佐賀市大和老人福祉センター（15,111,933円）

12 佐賀市立母子生活支援施設「高木園」運営事業（29,547,898円）

配偶者のいない女性やこれに準ずる要件にあたる女性及び監護すべき児童を受け入れて保護するとともに、一日も早く自立できるよう生活全般を指導・支援した。

13 松梅児童館運営事業（20,554,312円） 大和

児童に健全な遊び場を与え、その健康を増進し、情操を豊かにし、遊びを通して体力増強を図るとともに母親クラブ、子ども会など、地域組織活動の育成助長を図る。また、松梅校区に幼稚園・保育園がないため、就学前の保育を行う。併せて、子育て家庭の支援及び子どもの就学までの発達に応じた遊び場の提供、学習を支援・指導を行った。

14 佐賀市産業振興会館管理事業（1,593,486円）

地場産業の振興と、市民の福祉等の向上を図る産業振興会館の管理及び会議室等の貸し出しを行った。

15 佐賀市東与賀保健福祉センター管理事業（－円）

センター管理、会議室等の貸し出しや利用状況の把握等の管理業務を行った。

16 佐賀市久保田総合センター管理事業（2,630,000円）

文化的サークル活動や健康づくり・生涯学習の拠点施設である老人福祉センター、農村環境改善

センター、高齢者交流施設、保健センター（4施設）の会議室等の貸し出しや利用状況の把握等の管理業務を行うとともに、各施設の利用調整を行った。

IV. 在宅福祉サービス部門

1 寝具洗濯乾燥消毒サービス事業（555,000円）

在宅で生活する高齢者（所得制限有）及び身体障がい者（1級・2級）で、衛生管理が困難な者に対し、掛け布団、毛布及びシーツ等の寝具を丸洗い・消毒・乾燥等のサービスを年2回（9月・2月）無料で実施した。

2 居宅介護支援事業（23,399,693円）本所 川副

介護保険法により介護認定を受けた方の心身の状況や、その置かれている環境等を把握し、関係機関と連携を図りながら、希望に応じて適切なサービスを多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるようケアプラン作成、要介護認定調査、介護保険サービスの調整等を行った。

(1) 居宅介護支援佐賀事業所（7,141,208円）

(2) 居宅介護支援南部事業所（16,258,485円）

3 訪問介護事業（16,994,569円）川副

介護保険法により介護認定を受けた方が、在宅において自立した日常生活を送れるように、「身体介護」「家事援助」「両方の複合型」等のサービスを提供するため、ケアプランに基づいて訪問介護員（ホームヘルパー）を派遣した。

4 通所介護事業（93,921,402円）開成 大和

要支援及び要介護認定を受けた高齢者が、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・食事・レクリエーション等のサービスを提供し、利用者の心身機能の維持・向上と社会的孤独感の解消及び利用者家族の身体的・精神的負担の軽減を図った。

(1) 開成デイサービスセンター（42,794,325円）

(2) デイサービスセンターさくら（51,127,077円）

5 富士地区コミュニティバス実験運行（1,298,696円）（富士地区高齢者憩いの家事業）

自ら外出手段を持たない高齢者等の交通弱者に対し、外出の機会を提供することにより、閉じこもりの防止及び社会参加の促進を図り、自立した生活環境づくりを支援した。

6 佐賀市生活サポート事業（-円）

障害程度区分認定において非該当と認定された障がい者に対し、軽易な日常生活上の援助を行い、自立した生活の支援を行う。（佐賀市委託）

7 身体障がい者居宅介護支援事業（435,442円）川副

在宅で生活を営む身体障がい者手帳（重度）の取得者に対して、日常生活に必要なサービスを提供し、自立した生活の継続を支援した。

8 外出支援事業（1,625,323円）

(1) 佐賀市移送サービス事業（813,576円）【共募配分】

既存の交通機関による移動が困難な在宅の高齢者や身体障がい者（移動制限者）に運転ボランティアの協力を得て、車椅子搬送仕様自動車を利用した移送サービスを行った。

(2) ガイドヘルパー事業（居宅介護〔通院介助〕、移動支援）（811,747円）

重度の視覚障がい者が、通院や社会参加のために外出を行う場合に、付き添い介助するガイドヘルパーを派遣した。

V. その他の事業

1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力（佐賀県共同募金会佐賀市支会）

日本で唯一法律に基づいて行われる募金活動として、公的な福祉サービスでは支えられない分野の支援を行うため、佐賀県共同募金会佐賀市支会として募金活動を展開し、集まった募金は佐賀県共同募金会に全額送金した。

(1) 赤い羽根共同募金

「じぶんの町を良くするしくみ」をメインテーマに、10月1日から12月31日までの3ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施した。

(単位：円)

本支所名 募金種別	本所	諸富	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	合計
戸別募金	12,316,201	1,012,400	1,998,500	432,250	148,750	1,420,300	816,550	715,750	18,860,701
街頭募金	171,988		20,680		21,762	18,370			232,800
法人募金	1,925,489	774,000	167,000	378,000	107,283	534,000	247,226	277,000	4,409,998
学校募金	185,579	7,656	5,842	31,943	9,458	42,666	12,800	12,586	308,530
職域（資材）	1,648,650	354,850	265,800	195,250	53,100	111,650	113,600	222,950	2,965,850
職域・その他	378,886	22,079	12	40,118	19,766	7,173	32,781	17,962	518,777
合計	16,626,793	2,170,985	2,457,834	1,077,561	360,119	2,134,159	1,222,957	1,246,248	27,296,656

(2) 歳末たすけあい募金

「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに、12月1日から12月31日までの1ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施し、集まった募金は佐賀県共同募金会に全額送金した。

(単位：円)

本支所名 募金種別	本所	諸富	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	合計
戸別募金	4,825,479	297,600	571,000	123,500	42,500	409,300	233,300	205,500	6,708,179
その他	140,290	23,002	20,464					27,776	211,532
合計	4,965,769	320,602	591,464	123,500	42,500	409,300	233,300	233,276	6,919,711

(3) 災害義援金の募集・受付

各地で発生した災害などに対し義援金の募集及び受付を行い、集まった義援金は佐賀県共同募金会を通じて被災地へ送金した。

◎東日本大震災 (4月～3月) 2,947,731円 (3月31日現在)

2 日本赤十字社事業の推進（日本赤十字社佐賀県支部佐賀市地区）

国際救護活動や災害救護活動等の人道的使命に基づき、国内外で事業を実施している日本赤十字社の佐賀市地区として、赤十字事業の普及と事業推進に必要な資金を確保するため社員の確保に努めた。

(単位：円)

	本所	諸富	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	合計
社費・寄付金	13,500,098	1,404,400	2,848,900	617,500	212,500	2,103,500	1,152,000	1,028,500	22,867,398

(1) 各種講習会

佐賀県支部が開催する各種講習会の開催を積極的に推進するとともに、市内で行われる蘇生法などの講習に講師又は指導員の派遣調整を行った。

① 1,000人赤十字救急法実践講習会

世界赤十字デー（5月8日）の全国統一キャンペーン事業として、県内1,000人赤十字救急法実践講習会を開催し、赤十字事業に対する理解度の向上に努めた。

- 開催日 平成23年5月12日
- 場 所 メートプラザ佐賀
- 参加者 133人

②講習への講師（指導員）派遣

救急法：4ヶ所、幼児安全法：3ヶ所

(2) 災害義援金の募集・受付

各地で発生した災害などに対し義援金の募集及び受付を行い、集まった義援金は日本赤十字社佐賀県支部を通じて被災地へ送金した。

◎東日本大震災（4月～3月）12,880,427円（3月31日現在）

(参考) 東日本大震災災害義援金取り扱い状況 (単位：円)

	平成22年度	平成23年度	合計
共同募金会へ	2,690,743	7,327,468	10,018,211
日本赤十字社へ	3,963,156	21,031,191	24,994,347
合計	6,653,899	28,358,659	35,012,558